

# 課題設定力養成 セミナー

～本質的な課題の発見から設定方法を習得～

**開催日** 2025年 6月25日(水)  
10月21日(火)  
2026年 2月 5日(木)

**開催形態** オンライン (Zoom)

## 対 象

- ・若手～中堅社員・現場リーダー層の方
- ・業務で問題解決や企画業務に携わるが、課題設定に苦手意識がある方
- ・リーダー職や専門部署で新たな課題発見・設定が求められる方

## ■ 本セミナーのねらい

『課題設定力』。それは「何をすべきかを自ら考え出す力」であり、「どうやってそれを成し遂げるか」を考え出す、「問題解決力」の上流に位置するスキルです。

現代は、数ヶ月後の将来さえ予測が困難な時代です。こういった状況下では、リアルタイムに状況を分析し、指示待ちでは無く、自らの判断で動くこと、つまり課題設定することが求められるようになっていきます。

一方では、設定する課題自体が適切でない場合には、その課題に取り組んだ成果も期待したものにはなりません。

本セミナーは、**実務の中で本質的に何を課題に設定すればよいのか**、という視点や思考、発想をさまざまなケースを通じて学びます。

## ■ 本セミナーで学べること

- ロジカルシンキング（論理的思考）やラテラルシンキング（水平思考）について学ぶことができます。
- 「問題解決」の上流である、「課題設定」の仕方が学べます。
- 他のセミナー参加者と意見交流から、自分の思考の癖や特徴が理解できます。

## プログラム

10:00～17:00 <昼休み 12:00～13:00>

### 1 「課題設定力」とは？

- ・問題とは？課題とは？
- ・課題設定に必要な力
- ・視点・思考・発想の偏りを知る
- ・ロジカルシンキング（論理的思考）とラテラルシンキング（水平思考）の使い分け

### 2 問題の明確化

- 1-1. ロジカルに問題を整理する  
整理する見方と考え方（MECE、フレームワーク、仮説思考）
- 1-2. ラテラルに問題の捉え方を変え  
問題を捉え直す（視点移動）

### 3 原因を分析する

- 2-1. ロジカルに原因を究明する  
“何故”を繰り返す（ロジックツリー）
- 2-2. ラテラルに原因を探し出す  
一見関係ないことに視点を切り替える  
仮説形成のための「観察」

### 4 課題を設定する

- 3-1. ロジカルに解を導き出す  
仮説思考
- 3-2. ラテラルにアイデアを出す  
アナロジー（類推）  
ブレインストーミング

※プログラム内容・スケジュールは変更されることがあります。

関連セミナー

## ロジカルな思考力を鍛える問題解決力強化セミナー

【東京開催】 2025年 8月28日(木)～29日(金)  
12月 2日(火)～ 3日(水)

【オンライン開催】2025年 6月17日(火)～18日(水)  
9月11日(木)～12日(金)  
11月18日(火)～19日(水)  
2026年 2月 5日(木)～ 6日(金)

詳しくは

JMAマネジメントスクール

検索

<https://school.jma.or.jp/>

- ◆ 関係部門・関心のある方へご回覧・ご紹介ください。
- ◆ 「参加者の声」は裏面をご参照ください。

# 課題設定力養成セミナー

## 講師紹介(敬称略)

清水 久三子

(しみず くみこ)

株式会社 AND CREATE  
代表取締役

大手アパレル企業を経て、外資系コンサルティングファームに入社。新規事業戦略立案・展開支援、コンサルタント育成強化、プロフェッショナル人材制度設計・導入、人材開発戦略・実行支援などのプロジェクトをリードし、企業変革戦略コンサルティングチームのリーダー、研修部門リーダーを務める。  
プロジェクトマネジメント研修、コアスキル研修、リーダー研修など社内外の研修講師を務め、延べ1000人のコンサルタントの指導育成経験を持つ「プロを育てるプロ」として知られている。

主な著書:「プロの課題設定力」「プロの資料作成力」(全て東洋経済新報社)  
「外資系コンサルタントのインパクト図解術」(中経出版)  
「ロジカルライティング」(日経ビジネス文庫) 他

## 参加者の声

- 自身の業務で何をどのように課題設定すべきか、様々なケースや演習を通じて学ぶことができたので実務で実践してみます。
- ロジカルシンキング・ラテラルシンキングを元に課題設定の手法を学ぶことができ、思考力で自身の弱い部分も知ることができた。
- 演習・グループワークが多く、インプットとアウトプットを繰り返す行うことで明日からすぐに活かせるスキルを身に付けることができました。

## お申し込みについて

定員になり次第、申込受付を終了します。お早めにお申し込みください。

1



パソコン(各種検索サイト)からダイレクトで

セミナーID(半角数字) **JMA 100181** で検索

もしくは、<https://school.jma.or.jp/>

※貴社の情報セキュリティ方針等でwebからのお申し込みが難しい方は  
JMAマネジメントスクールまでお電話にてお問い合わせください。  
TEL: 03(3434)6271

2



スマートフォン  
タブレットから



## 参加料 (消費税込)

一般社団法人日本能率協会法人会員	62,700円/1名
上記会員外	74,800円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。

※法人会員ご入会の有無につきましては、下記HPにてご確認ください。  
<https://www.jma.or.jp/membership/>

※参加申込規定はJMAマネジメントスクールのWebページ(<https://school.jma.or.jp/>)に掲載しておりますのでご確認ください。

## 参加定員 30名

※参加定員の関係でご参加いただけない場合は折り返しご連絡いたします。

## キャンセル・参加日程変更の規定

キャンセルご連絡日	キャンセル料	日程変更手数料 (年度内一回限り)
開催15日前～開催8日前 (開催当日を含みます)	参加料の10%	無 料
開催7日前～前々日 (開催当日を含みます)	参加料の30%	5,500円(税込)
開催前日および当日	参加料の全額	7,700円(税込)

参加日程の変更については、変更後の日程で確実に参加することを条件に1回のみ可能といたします。

電話でご確認後、所定のお手続きをお取りください。万が一キャンセルの場合、初回のお申出の日付により上記キャンセル料が発生します。なお変更後の日程のキャンセルの場合も上記キャンセル料を申し受けますのでご了承ください。変更は同一年度内(4月～翌年3月)に限りです。

(注)変更・キャンセルの場合は必ずJMAマネジメントスクールの問い合わせフォームよりご連絡ください。

## オンライン受講の方法

- オンライン会議ツール「Zoom」で配信します。  
事前に接続テスト(<https://zoom.us/test>)にアクセスいただき、動作をご確認ください。
- 1申込につき1名様がお受講ください。(著作権の観点から1申込で複数の方のご受講はお受けしません)
- ビデオオンでできる環境をご用意ください。イヤホンやヘッドセット、外部スピーカーを使用してお受講をおすすめします。
- お申し込み時、参加される方のメールアドレスを必ず登録してください。
- テキストは事前に配付します。
- 本セミナーの講義資料および配信映像の録画、録音、撮影など複製ならびに二次利用は一切禁止です。
- Zoomにおけるリモート制御ならびにレコーディング機能はホスト側にて停止させていただきます。

※お申し込みの前に必ずオンラインLIVEセミナー規約をご確認ください。  
お申し込み完了を以て規約に同意したことといたします。

## 申込に関するお問い合わせ先 (参加証・請求書・キャンセル・変更などに関する内容)

JMAマネジメントスクール TEL: 03(3434)6271  
電話受付時間 月～金曜日9:00～17:00 ただし祝日を除く  
E-mail: [seminar@jma.or.jp](mailto:seminar@jma.or.jp) FAX: 03(3434)5505

## プログラム内容に関するお問い合わせ先 (企画担当)

一般社団法人日本能率協会 経営・人材革新センター  
〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22 TEL: 03(3434)1955(直通)

日本の経営革新

×  
学びと成長



日本能率協会(JMA)は、企業経営の要である「ひと」の力を最大にすることを通じ、新たな経営・組織づくりに貢献します。

社長・役員向けプログラムのほか、次世代経営者・幹部育成のための長期プログラム、役職別の能力開発研修、人事・教育、マーケティング、営業、開発・設計・技術、生産、購買・調達など専門領域のスキルアップ研修など年間2,000本以上の公開型研修を開催しています。また、企業・自治体・学校向け、個別課題解決支援も行っています。

## 会員制度のご案内

一般社団法人日本能率協会は法人を対象とした法人会員制度を設け、セミナー参加料割引をはじめ各種サービスを提供しております。  
是非この機会にご入会をご検討ください。

詳細は  
<https://www.jma.or.jp/membership/>

## JMAが選ばれ続ける4つの理由

- 1 現場課題に合わせたプログラム内容
- 2 実践力のつく演習
- 3 研修結果を継続させる仕組み
- 4 多様な業界、業種と交流